



平成 23 年 5 月 24 日

報道各位

## 平成 23 年度 ACC 事業計画決まる

社団法人全日本シーエム放送連盟

社団法人 全日本シーエム放送連盟（略称：ACC、東京都港区、理事長：永田 圭司）は、5 月 23 日（月）に通常総会を開催し、第 51 回 ACC CM フェスティバル（正式名称：2011 51st ACC CM FESTIVAL）の開催など、平成 23 年度の事業計画を決定しました。

当連盟は、昨年 50 周年を迎えましたが、今年度は気持も新たに、これからの 50 年に向けて視聴者に必要とされる CM のあり方、あるいは多様な視聴形態に対応する CM のあり方はいかにあるべきか、という課題に取り組んでいきます。

平成 23 年度の ACC 事業計画の概要は次の通りです。

### 平成 23 年度 ACC 事業計画概要

今年で第 51 回目を迎える「2011 51st ACC CM FESTIVAL」は、日本における CM コンクールの頂点に位置付け、今年も日本最高のスケールと権威ある広告賞として各界から注目を集める事業となることを目標に実施しますが、3 月に起きた東日本大震災を受け、スケジュールを変更して行います。具体的には、3 ヶ月遅らせ、9 月 1 日からエントリーをスタートさせます。その後の予定は、11 月初旬～12 月初旬にテレビ CM、ラジオ CM、ME（マーケティング・エフェクティブネス）の全国審査会をそれぞれ実施し、各賞の選考を行います。審査結果発表は 12 月 8 日の予定。贈賞式・記念パーティは翌 2012 年 1 月中旬に開催し、発表会は 1 月中旬の東京発表会を皮切りに、全国で順次開催。そして来年 5 月には、入賞作品を網羅した年鑑を発行します。

国際交流事業においては、カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバルのフィルム部門審査員の選考を行い、その審査員を通じてカンヌの最新情報を入手して、会員社への情報提供を行っていきます。また、毎年カンヌで行われるヤング クリエイティブ コンペティションの日本代表チーム（フィルム・プリント）を選考していますが、今年度は派遣費用を援助するほか、現地に向かう前に若手育成ワークショップを実施するなど、若手クリエイターの育成にも力を入れます。

クリエイティブ事業では、CM シンポジウム及び学生 CM コンクールを実施し、シーエム技術事業では、本年 7 月のアナログ放送終了に伴う完全デジタル化を受け、最新の CM 放送基準と制作技術に焦点を当て研究会を行います。シーエム著作権事業では、CM 著作権をはじめとする諸権利の問題を言及するに当たり、関係者に理解を深めてもらうことを目標に、委員会の下にオープンに参加できる研究会を設置して、啓発と課題の整理を行っていきます。広報事業では、このような ACC の各活動を会報「ACCtion!」とホームページを連動させて、よりタイムリーに発信していきます。

なお、平成 23 年は以下の体制で事業を行っていきます。



### 平成 23 年度 ACC 体制

理事長	永田 圭司	ライトパブリシティ株式会社 特別顧問
副理事長	宮崎 晋	株式会社博報堂 専務執行役員チーフクリエイティブオフィサー
〃	岡田 高治	太陽企画株式会社 取締役会長
〃	杉山 恒太郎	株式会社電通 取締役
〃	久保田 和昌	サントリービジネスエキスパート株式会社
〃		執行役員宣伝・デザイン本部副本部長兼宣伝部長
〃	稲木 甲二	株式会社フジテレビジョン 取締役
専務理事	武藤 恒義	社団法人全日本シーエム放送連盟

#### 【委員会委員長】

ACC 賞審査委員会委員長	杉山 恒太郎	株式会社電通 取締役
クリエイティブ委員会委員長	木下 一郎	株式会社電通 第1クリエイティブ局局長
技術委員会委員長	勝田 正仁	太陽企画株式会社 取締役兼執行役員テクニカルディレクション本部副本部長
著作権委員会委員長	貝原 武	株式会社読売広告社 コミュニケーションデザイン統括ED
広報委員会委員長	生野 徹	東京ガス株式会社 広報部部長
総務委員会委員長	高橋 健三郎	味の素株式会社 広告部長

以 上



## 各事業の概要

### 1. ACC フェスティバル事業

当連盟の活動の中心である「ACC CM FESTIVAL」を、日本における CM コンクールの頂点に位置付け、今年も日本最高のスケールと権威ある広告賞として、各界から注目を集める事業となることを目標に実施します。ただし、今年 3 月に起きました東日本大震災の影響を考慮するとともに、従来の CM に加え、震災による社会的影響を反映した CM についても本年度の審査会で評価したいと考え、スケジュールを変更して実施します。

#### (1) スケジュール

##### 募集対象 : 【テレビ CM 部門】

2010 年 7 月 1 日から 2011 年 9 月 30 日までに社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたテレビ CM を対象とします。

##### 【ラジオ CM 部門】

2010 年 7 月 1 日から 2011 年 9 月 30 日までに社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたラジオ CM を対象とします。また、今年は被災地域のコミュニティ FM 局などで放送している生活情報の中に、消費者に密着した CM と解釈できるものがあるのではないかと推定し、既成概念を超えた試みを検討しています。

##### 【マーケティング・エフェクティブネス部門】

CM を中心に戦略的かつ効果的な広告活動を展開し、その結果、商品認知度の急激なアップ、新規顧客層の開拓、マーケットシェアの拡大、ブランド価値の向上など、ビジネスに大きな成果を残した企画を対象とします。2011 年 9 月 30 日以前に社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において、テレビ CM ないしラジオ CM が初放送されたものとします。

応募受付 : 応募は ACC のホームページ (<http://www.acc-cm.or.jp>) からエントリーをしていただきます。

##### 【テレビ CM 部門／ラジオ CM 部門】(土日は除く)

ネットエントリー : 9 月 1 日 (木) ～9 月 30 日 (金) 15 : 00 締切

##### 【マーケティング・エフェクティブネス部門】(土日は除く)

ネットエントリー : 9 月 1 日 (木) ～9 月 30 日 (金)

DVD 素材提出 : 9 月 1 日 (木) ～10 月 14 日 (金)



応募部門 : テレビ CM 部門／地域テレビ CM 部門  
ラジオ CM 部門／地域ラジオ CM 部門  
マーケティング・エフェクティブネス部門

- \* テレビ CM 部門／ラジオ CM 部門では最高作品賞である ACC グランプリ・ACC ゴールドのテレビベスト 10・ラジオベスト 5、ACC シルバー、ACC ブロンズ及び ACC ファイナリスト、地域ファイナリスト（各地域別）の各賞が贈られます。また、企画、演出、コピーなど、特にユニークかつ秀逸な技術・技能を提示した個人には特別賞、特に優れた演技力を発揮した個人ないしグループには演技賞が贈られます。
- \* マーケティング・エフェクティブネス部門はグランプリ、メダリストに賞が贈られます。

地域審査会：10 月に全国 7 地区で審査（地域テレビ CM 部門／地域ラジオ CM 部門）

全国審査会：11 月初旬～12 月初旬

審査発表：12 月 8 日（木）

贈賞式・記念パーティ：2012 年 1 月中旬

入賞作品発表会：2012 年 1 月中旬 東京発表会を皮切りに、

全国 31 ヶ所の都市にて順次開催されます

2012 年版 CM 年鑑、DVD 版の発行：2012 年 5 月発行予定

## （2）審査員（敬称略）

<テレビ CM 部門 審査員>

審査委員長

杉山 恒太郎（株式会社電通）

麻生 哲朗（TUGBOAT）

一倉 宏（一倉広告制作所）

伊藤 直樹

太田 麻衣子（株式会社博報堂クリエイティブ・ヴォックス）

川越 智勇（株式会社アサツーディ・ケイ）

岸 勇希（株式会社電通）

佐々木 宏（シンガタ）

佐野 研二郎（MR\_DESIGN）

澤本 嘉光（株式会社電通）

高崎 卓馬（株式会社電通）

高田 伸敏（株式会社東急エージェンシー）

多田 琢（TUGBOAT）

田中 昌宏（株式会社大広）



永井 聡 (株式会社葵プロモーション)  
中島 信也 (株式会社東北新社)  
永見 浩之 (株式会社博報堂)  
福里 真一 (ワンスカイ)  
古川 裕也 (株式会社電通)  
三井 明子 (株式会社アサツーディ・ケイ)  
山崎 隆明 (株式会社ワトソン・クリック)  
横澤 宏一郎 (株式会社タンバリン)

<ラジオ CM 部門 審査員>

審査委員長 小田桐 昭 (オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン株式会社)  
審査委員 林屋 創一 (株式会社エフエム東京)  
福本 ゆみ (有限会社福本ゆみ事務所)  
中山 佐知子 (株式会社ランダムハウス)  
井田 万樹子 (フリー)  
山田 美保子 (有限会社ヒロイン)  
中村 聖子 (Seiko Office)  
岡部 将彦 (株式会社電通)  
福島 和人 (株式会社博報堂)  
直川 隆久 (株式会社電通)  
橋本 祐子 (朝日放送株式会社)  
山本 高史 (株式会社コトバ)

<ME 部門 審査員>

審査委員長 秋元 康 (作詞家・京都造形芸術大学副学長・日本放送作家協会理事長)  
審査員 池永 忠裕 (電通プロモーションデザイン室長)  
大谷 研一 (博報堂アーキテクト取締役)  
岡野 宏 (キヤノンマーケティングジャパン宣伝制作部長)  
岡本 善勝 (資生堂 宣伝制作部プロデュース室長)  
恩蔵 直人 (早稲田大学商学学術院長 商学部長)  
早乙女 治 (ADKエグゼクティブクリエイティブディレクター)  
島崎 紘而 (味の素 理事 広告部制作企画グループ長)  
白井 博志 (博報堂コンサルティング局長)  
田中 里沙 (宣伝会議 取締役 編集室長)  
津山 克則 (パナソニック マーケティング本部グループマネージャー)  
三浦 武彦 (電通 執行役員 エグゼクティブクリエイティブディレクター)  
八塩 圭子 (学習院大学 経済学部 経営学科 特別客員教授)  
八嶋 実 (ADKストラテジックプランニング 本部シニアプランニングディレクター)



### 3. 国際交流事業

海外広告賞を通じ最新の海外情報を提供することによって、広告に携わる方々の業務に役立てていただき、国内 CM 制作現場の質の向上に寄与するとともに、国際舞台で活躍できるクリエイターの育成を目指します。

具体的には、カンヌライオンズ ヤングクリエイティブコンペ国内選考会を実施し、多くの若手クリエイターが挑戦する機会を提供しています。今年は、さらに国内代表チームと上位入賞チームに対して、実践的な若手育成ワークショップを開催し、クリエイティブ能力を磨き上げ、カンヌライオンズに送り込む方針です。なお、派遣費用については ACC が援助します。

また、カンヌライオンズのフィルム部門審査員を ACC で選考、今年は株式会社博報堂シニア・クリエイティブディレクターの新妻英信氏に決定しました。ほか、カンヌライオンズ本部とのつながりを継続し、現地ホスピタリティラウンジの開設、デレゲーションブースの確保等、日本からの広告祭参加者への便宜を図ります。

### 4. クリエイティブ事業

新たに木下 一郎氏（電通第 1 クリエイティブ局局長）にクリエイティブ委員会委員長に就任いただき、CM の質的向上と人材の育成を目指し、下記諸活動を積極的に展開します。

#### (1) CM シンポジウムの開催

シンポジウムは過去 7 回開催していますが、本年度は CM 制作に関する問題点も含めた新しい展開を徹底的に議論し、有意義な内容で開催する予定です。

#### (2) 第 23 回学生 CM コンクールの実施

CM 制作の新しい人材の育成のために開催され、今年で第 23 回目を数えます。昨年同様 web による作品受付を実施します。

### 5. シーエム技術事業

新たに勝田 正仁氏（太陽企画取締役兼執行役員テクノロジーソリューション本部副本部長）に技術委員長に就任いただき、2011 年のアナログ放送終了に伴う完全デジタル化に向けて、最新の CM 放送制作技術に注目し、CM 表現の新たな技術的可能性を以下の活動テーマで研究します。

#### (1) 研究会

①放送と通信の融合の研究「スマート TV 等」

②AR（拡張現実）技術の研究

③CM の字幕表示に関する情報交換

#### (2) デジタル放送時の CM 音量基準に関する啓発



## 6. シーエム著作権事業

著作権をはじめとする諸権利の問題を言及するにあたり、関係者に理解を深めてもらうため、委員会の下にオープンに参加できる研究会を設置し、啓発と課題の整理を行っていきます。

- ① CM の企画、制作から放送、さらには再利用に至るまでの間で想定されるトラブルを回避するための対策を、Q & A を中心に研究会で検討し、その結果をホームページ等で発表し、諸権利に関する啓発を行う。
- ② 「搬入素材ファイル化」に対応した権利関係の課題を整理する。

## 7. 広報事業

会報、ホームページ、ニュースリリース、記者懇談会などを通じ、会員はもちろんマスコミにも積極的な広報活動を通じACCの活動をPRし、支援していただけるよう働きかけていきます。同時に、広く一般視聴者に対して、CM への興味喚起を促進し、これらの活動を通して、CM の質的向上に寄与するように活動していきます。

ホームページについては、会報とより連動して多角的に情報発信するとともに、会員サービスの充実を図るため、会員専用ページの設置について準備していきます。

## 8. その他

定款及び諸規定の見直しを行い、新公益法人制度へ対応していく考えです。

以上

### この件に関するお問い合わせ先

(社) 全日本シーエム放送連盟 (ACC)  
〒105-0004 東京都港区新橋3-1-11 長友ランディックビル5F  
TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263  
ホームページ <http://www.acc-cm.or.jp>  
担当 : 小原